

2年生 看護リフレクション演習Ⅱ

事例紹介

A 氏80歳代。両目失明。両耳難聴。食事に意欲的で、できるだけ自分で食べたいと望んでいる反面、上手く食べられるか不安も感じている。

この患者さんの思いを尊重し、できるだけ自分で食べられるように援助しました！



まずは、トレイの中の食器の位置やメニューを手で触れてもらいながら、丁寧に説明します！



手助けは必要最小限に・・・
でも、不安なく食べてもらいたい・・・
加減が難しいなあ。



最後は教員とマンツーマンで援助を振り返り、改善点を見つけています。
より良い援助を追求し続けることが大切ですね♪

